

平成21年7月16日  
大臣官房統計情報部  
人口動態・保健統計課  
課長 安部 (7461)  
課長補佐 齋藤 (7471)  
担当係 計析第一係 (7470)  
(電話代表) 03(5253)1111  
(FAX) 03(3595)1670

## 平成20年簡易生命表の概況について

～男の平均寿命は79.29年、女の平均寿命は86.05年～

平成20年簡易生命表の結果を、今般とりまとめいたしましたので公表します。

### 【平成20年簡易生命表のポイント】

- ・男の平均寿命は **79.29** 年（過去最高）
- ・女の平均寿命は **86.05** 年（過去最高）

#### 1 平成20年簡易生命表の目的

平成20年簡易生命表は、平成20年における我が国の死亡状況が今後変化しないと仮定したときに、各年齢の者が1年以内に死亡する確率や平均してあと何年生きられるかという期待値などを死亡率や平均余命などの指標（生命関数）によって表すことを目的としています。

#### 2 平成20年簡易生命表の時期

平成20年の1年間です。

#### 3 平成20年簡易生命表の項目

性別各年齢別の死亡率、生存数、死亡数、定常人口、平均余命となっています。

#### 4 平成20年簡易生命表の対象

日本における日本人です。

#### 5 平成20年簡易生命表の作成方法

推計人口による日本人人口や人口動態統計月報年計（概数）を基に作成しています。

#### 6 平成20年簡易生命表の結果

男の平均寿命は **79.29** 年、女の平均寿命は **86.05** 年となっており、男女差は **6.76** 年となっています。

この資料は、厚生労働省ホームページにも掲載しています。

掲載場所：「報道発表資料」→「統計情報部」

<http://www.mhlw.go.jp/toukei/saikin/hw/life/life08/index.html>

## 目 次

平成20年簡易生命表について	1
1 主な年齢の平均余命	2
2 寿命中位数等生命表上の生存状況	3
3 平均寿命の国際比較	4
4 死因分析	6
平成20年簡易生命表（男）	8
平成20年簡易生命表（女）	10
参考資料1 生命表諸関数の定義	12
参考資料2 平均余命の年次推移	13
参考資料3 死因別死亡確率と特定死因を除去した場合の 平均余命の延びの推移	14

## 平成20年簡易生命表について

平成20年簡易生命表は、平成20年における我が国の死亡状況が今後変化しないと仮定したときに、各年齢の者が1年以内に死亡する確率や平均してあと何年生きられるかという期待値などを死亡率や平均余命などの指標（生命関数）によって表したものである。

これらの関数は男女別に各年齢の死亡件数と中央人口（7月1日現在）を基にして計算されており、その関数値は現実の我が国の年齢構成には左右されず、死亡状況のみを表している。したがって、我が国の死亡状況を厳密に分析する上で不可欠なものとなっている。また0歳の平均余命である「平均寿命」は、我が国の死亡状況を集約したものとなっており、保健福祉水準を総合的に示す指標として広く活用されている。

なお、簡易生命表は、推計人口による日本人人口や人口動態統計月報年計（概数）をもとに毎年作成しており、完全生命表は、国勢調査による日本人人口（確定数）や人口動態統計（確定数）をもとに5年ごとに作成している。

# 1 主な年齢の平均余命

平成20年簡易生命表によると、男の平均寿命は79.29年、女の平均寿命は86.05年と前年と比較して男は0.10年、女は0.06年上回った。主な年齢の平均余命については、前年に比べ、男は80歳以上で下回り、70歳以下で上回った。女は90歳で下回り、90歳台を除いて上回った。また、平均寿命の男女差は、6.76年で前年より0.04年縮小した。(表1、表2)

平均寿命の伸びを死因別に分析すると、悪性新生物、心疾患(高血圧性を除く)、脳血管疾患及び不慮の事故などが平均寿命を延ばす方向に働いている(図1)。

表1 主な年齢の平均余命とその伸び

(単位:年)

年齢	男			女		
	平成20年	平成19年	伸び	平成20年	平成19年	伸び
0歳	79.29	79.19	0.10	86.05	85.99	0.06
5	74.57	74.48	0.09	81.33	81.27	0.06
10	69.61	69.52	0.09	76.36	76.30	0.06
15	64.65	64.56	0.09	71.39	71.33	0.06
20	59.75	59.66	0.09	66.45	66.39	0.06
25	54.92	54.82	0.10	61.54	61.48	0.06
30	50.09	49.99	0.10	56.64	56.57	0.07
35	45.27	45.17	0.10	51.75	51.68	0.07
40	40.49	40.40	0.09	46.89	46.82	0.07
45	35.79	35.72	0.07	42.08	42.01	0.07
50	31.21	31.15	0.06	37.34	37.27	0.07
55	26.79	26.73	0.06	32.69	32.62	0.07
60	22.58	22.54	0.04	28.12	28.06	0.06
65	18.60	18.56	0.04	23.64	23.59	0.05
70	14.84	14.80	0.04	19.29	19.25	0.04
75	11.40	11.40	0.00	15.18	15.16	0.02
80	8.49	8.50	-0.01	11.43	11.42	0.01
85	6.13	6.16	-0.03	8.21	8.20	0.01
90	4.36	4.40	-0.04	5.71	5.72	-0.01
95	3.15	3.19	-0.04	3.97	3.97	0.00
100	2.31	2.34	-0.03	2.77	2.75	0.02

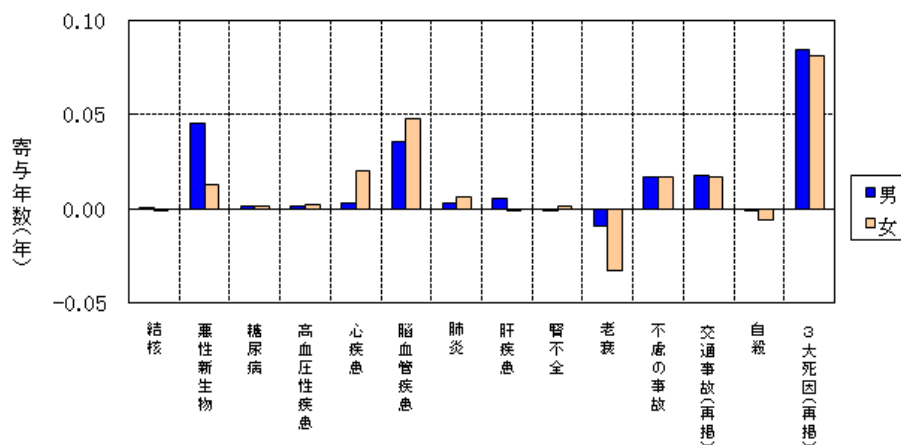
表2 平均寿命の年次推移

(単位:年)

和暦	男	女	男女差
昭和22	50.06	53.96	3.90
25-27	59.57	62.97	3.40
30	63.60	67.75	4.15
35	65.32	70.19	4.87
40	67.74	72.92	5.18
45	69.31	74.66	5.35
50	71.73	76.89	5.16
55	73.35	78.76	5.41
60	74.78	80.48	5.70
平成2	75.92	81.90	5.98
7	76.38	82.85	6.47
12	77.72	84.60	6.88
13	78.07	84.93	6.86
14	78.32	85.23	6.91
15	78.36	85.33	6.97
16	78.64	85.59	6.95
17	78.56	85.52	6.96
18	79.00	85.81	6.81
19	79.19	85.99	6.80
20	79.29	86.05	6.76

注: 1)平成12年まで及び平成17年は完全生命表による。  
2)昭和45年以前は、沖縄県を除く値である。

図1 平均寿命の伸びに対する死因別寄与年数



注: 1) 3大死因とは悪性新生物、心疾患、脳血管疾患である。  
2) 交通事故は、不慮の事故の再掲である。

## 2 寿命中位数等生命表上の生存状況

平成20年簡易生命表によると、男女それぞれ10万人の出生に対して65歳の生存数は男86,556人、女93,407人となっている。これは65歳まで生存する者の割合が男は86.6%、女は93.4%であることを示している。同様に、75歳まで生存する者の割合は男71.2%、女86.0%、90歳まで生存する者の割合は男21.1%、女44.8%となっている。(表3、図2)

0歳以上の定常人口(生命表上の全生存年数)は、男793万人、女861万人となっており、65歳以上の定常人口(生命表上の65歳以上生存年数)は男161万人(20.3%)、女221万人(25.7%)となっている(表4)。

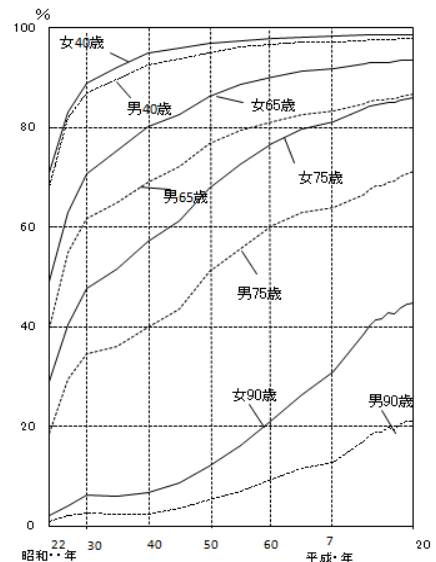
生命表上で、出生者のうちちょうど半数が生存すると期待される年数を寿命中位数といい、平成20年においては、男82.21年、女88.83年となっている。平均寿命に比べ、男は2.92年、女は2.78年上回っている。(表5)

表3 生命表上の特定年齢まで生存する者の割合

(単位: %)

和暦	男				女			
	40歳	65歳	75歳	90歳	40歳	65歳	75歳	90歳
昭和22	68.0	39.8	18.5	0.9	70.9	49.1	29.0	2.0
25-27	81.8	55.1	29.4	2.0	83.2	62.8	40.5	4.0
30	87.0	61.8	34.6	2.7	89.0	70.6	47.6	6.2
35	89.7	64.8	36.1	2.3	92.2	75.2	51.5	6.0
40	92.6	69.1	39.9	2.3	95.0	80.0	57.1	6.5
45	93.7	72.1	43.5	3.5	96.1	82.6	61.2	8.6
50	95.1	76.8	51.0	5.4	96.9	86.1	67.8	12.0
55	96.1	79.4	55.7	7.1	97.6	88.5	72.7	16.0
60	96.7	81.1	60.2	9.4	98.0	90.1	76.9	21.2
平成2	97.1	82.6	63.0	11.6	98.3	91.3	79.8	26.3
7	97.2	83.3	63.8	12.8	98.4	91.6	81.2	30.9
12	97.5	84.7	66.7	17.3	98.6	92.6	83.7	38.8
13	97.6	85.1	67.5	18.2	98.6	92.8	84.2	40.1
14	97.7	85.4	68.2	18.9	98.6	92.9	84.5	41.4
15	97.6	85.3	68.4	19.0	98.6	93.0	84.8	41.7
16	97.7	85.7	69.1	19.8	98.7	93.0	85.0	42.8
17	97.7	85.7	69.3	19.3	98.7	93.1	85.1	42.7
18	97.8	86.1	70.3	20.6	98.7	93.3	85.5	43.9
19	97.8	86.4	70.8	21.0	98.7	93.3	85.8	44.5
20	97.9	86.6	71.2	21.1	98.7	93.4	86.0	44.8

図2 生命表上の特定年齢まで生存する者の割合



注: 1) 平成12年まで及び平成17年は完全生命表による。  
2) 昭和45年以前は、沖縄県を除く値である。

注: 1) 平成12年まで及び平成17年は完全生命表による。  
2) 昭和45年以前は、沖縄県を除く値である。  
3) 生命表作成時点における死亡状況を一定不変とした場合の状況を表しており、現実の生存者の割合とは異なっている。

表4 生命表上の全生存年数に対する

65歳以上生存年数の割合

(単位: %)

和暦	男	女
昭和22	...	...
25-27	10.5	13.3
30	11.5	14.7
35	11.5	15.1
40	12.1	16.0
45	13.0	17.0
50	14.7	18.5
55	15.8	19.9
60	16.8	21.2
平成2	17.6	22.3
7	18.0	23.2
12	19.1	24.5
13	19.4	24.8
14	19.6	25.0
15	19.6	25.1
16	19.8	25.3
17	19.8	25.2
18	20.1	25.5
19	20.2	25.6
20	20.3	25.7

注: 1) 平成12年まで及び平成17年は完全生命表による。  
2) 昭和45年以前は、沖縄県を除く値である。  
3) 「…」は表章されていない。

表5 寿命中位数

(単位: 年)

和暦	男	女
昭和22	59.28	64.45
25-27	67.22	71.31
30	69.79	74.19
35	70.66	75.44
40	72.00	77.04
45	73.10	78.19
50	75.31	80.17
55	76.69	81.75
60	78.06	83.38
平成2	79.13	84.71
7	79.49	85.73
12	80.74	87.41
13	81.08	87.72
14	81.28	88.02
15	81.35	88.09
16	81.57	88.34
17	81.56	88.34
18	81.94	88.61
19	82.11	88.77
20	82.21	88.83

注: 1) 平成12年まで及び平成17年は完全生命表による。  
2) 昭和45年以前は、沖縄県を除く値である。

### 3 平均寿命の国際比較

平均寿命の諸外国との比較は、国により作成基礎期間が異なるので厳密な比較は困難である。しかし、現在入手している資料を用いて比較すると表6のとおりである。

図3は、諸外国の平均寿命の年次推移を図示したものである。

表6 平均寿命の国際比較

(単位：年)

国名	作成基礎期間	男	女	(参考)人口(万人)	
日本 (Japan)	2008*	79.29	86.05	12 595	
アフリカ (AFRICA)	アルジェリア (Algeria)	2000	72.5	74.2	3 348
	エジプト (Egypt)	2006*	69.2	73.6	7 201
	ナイジェリア (Nigeria)	2000-2005	52.0	52.2	14 000
	南アフリカ (South Africa)	2004	49.9	52.9	4 739
	チュニジア (Tunisia)	2007*	72.3	76.2	1 013
北アメリカ (NORTH AMERICA)	カナダ (Canada)	2005*	78.0	82.7	3 265
	メキシコ (Mexico)	2008*	72.7	77.5	10 487
	アメリカ合衆国 (United States)	2006*	75.1	80.2	29 940
南アメリカ (SOUTH AMERICA)	アルゼンチン (Argentina)	2000-2001*	70.0	77.5	3 897
	ブラジル (Brazil)	2007*	68.8	76.4	18 677
	チリ (Chile)	2005	75.5	81.5	1 643
	ペルー (Peru)	1995-2000	65.9	70.9	2 738
アジア (ASIA)	中国 (China)	2000*	69.63	73.33	131 102
	インド (India)	2001-2005*	62.3	63.9	111 773
	インドネシア (Indonesia)	2002*	64.2	68.1	22 205
	イスラエル (Israel)	2007*	78.8	82.5	705
	韓国 (Korea, Republic of)	2007*	76.1	82.7	4 830
	マレーシア (Malaysia)	2007*	71.7	76.5	2 664
	シンガポール (Singapore)	2007*	78.2	82.9	448
	タイ (Thailand)	2002*	69.9	74.9	6 531
ヨーロッパ (EUROPE)	オーストリア (Austria)	2008*	77.6	83.0	828
	ベルギー (Belgium)	2004	76.5	82.4	1 054
	チェコ (Czech Republic)	2008*	73.96	80.13	1 029
	デンマーク (Denmark)	2007-2008*	76.26	80.70	544
	フィンランド (Finland)	2008*	76.3	83.0	527
	フランス (France)	2008*	77.5	84.3	6 135
	ドイツ (Germany)	2005-2007*	76.89	82.25	8 237
	アイスランド (Iceland)	2008*	79.6	83.0	30
	イタリア (Italy)	2006*	78.44	83.98	5 894
	オランダ (Netherlands)	2008*	78.4	82.4	1 635
	ノルウェー (Norway)	2008*	78.31	82.95	466
	ポーランド (Poland)	2008*	71.3	80.0	3 813
	ロシア (Russian Federation)	2006	60.4	73.2	14 249
	スペイン (Spain)	2005*	76.96	83.48	4 407
	スウェーデン (Sweden)	2008*	79.10	83.15	908
	スイス (Switzerland)	2007*	79.4	84.2	748
イギリス (United Kingdom)	2005-2007*	77.2	81.5	6 059	
オセアニア (OCEANIA)	オーストラリア (Australia)	2005-2007*	79.0	83.7	2 070
	ニュージーランド (New Zealand)	2005-2007*	78.0	82.2	419

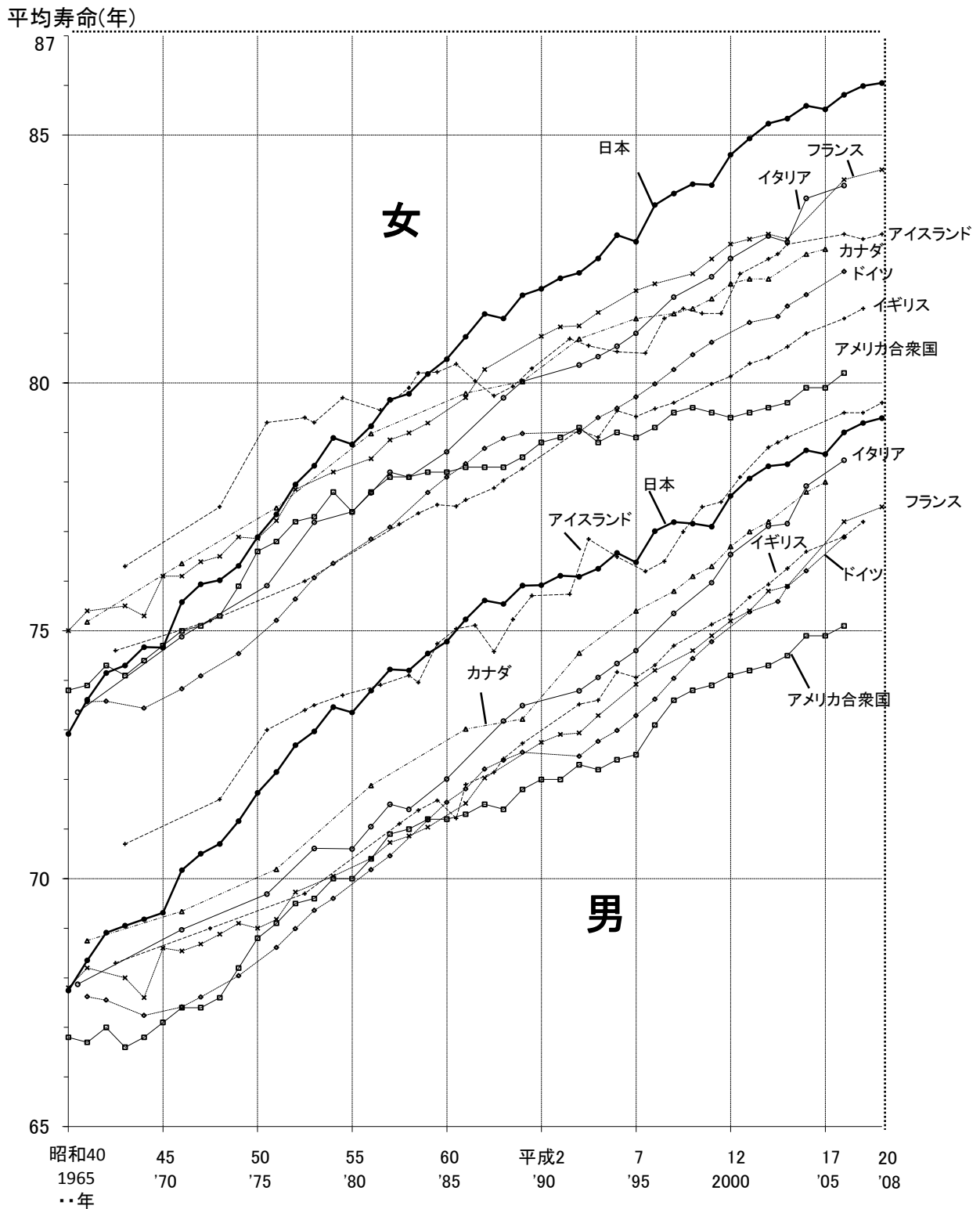
参考：香港 (Hong Kong) の平均寿命は、2008年\*で、男が79.4年、女が85.5年である。(人口 686万人)

資料：UN「Demographic Yearbook 2006」等

\*印は平均寿命が当該政府の資料によるもの

注：人口は2006年の年央推計人口である。ただし、日本については平成20年10月1日現在推計人口である。

図3 主な諸外国の平均寿命の年次推移



資料：UN「Demographic Yearbook」等  
 注：1990年以前のドイツは、旧西ドイツの数値である。

## 4 死因分析

### (1) 死因別死亡確率

人はいずれ何らかの死因で死亡することになるが、生命表の上で、ある年齢の者が将来どの死因で死亡するかを計算し、確率の形で表したものが死因別死亡確率である。

平成20年の死因別死亡確率をみると、0歳では男女とも悪性新生物で将来死亡する確率が最も高く、次いで、男は心疾患、肺炎、脳血管疾患、女は心疾患、脳血管疾患、肺炎の順になっている。65歳では0歳に比べ悪性新生物の死亡確率が低く、他の死亡確率が高くなっており、75歳、90歳では更にこの傾向が強くなっている。3大死因（悪性新生物、心疾患、脳血管疾患）の死亡確率は男女とも0歳、65歳、75歳の各年齢で5割を超えているが、90歳では5割を下回っている。

前年と比較すると、男女ともに悪性新生物、脳血管疾患、肺炎の死亡確率は低くなっている。（図4、表7）

図4 死因別死亡確率（主要死因）

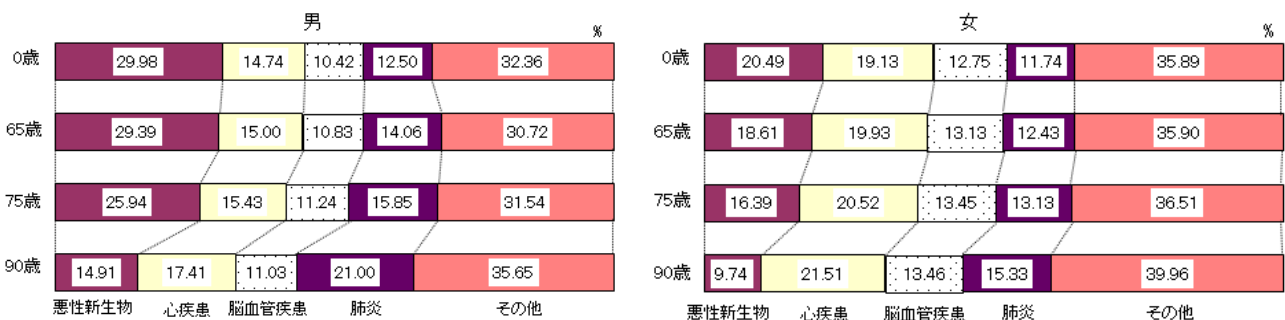


表7 死因別死亡確率（主要死因）の推移（0歳・65歳・75歳・90歳）

（単位：％）

主要死因	年齢	男					女				
		平成16年	17年	18年	19年	20年	平成16年	17年	18年	19年	20年
悪性新生物	0歳	30.46	29.88	29.97	30.10	29.98	20.94	20.54	20.56	20.56	20.49
	65	29.80	29.30	29.37	29.50	29.39	18.98	18.63	18.68	18.69	18.61
	75	25.92	25.59	25.81	26.00	25.94	16.69	16.37	16.44	16.49	16.39
	90	15.01	14.68	15.00	14.98	14.91	10.14	9.83	9.92	9.87	9.74
心疾患 (高血圧性を除く)	0歳	14.53	14.88	14.87	14.67	14.74	18.88	19.17	19.24	19.16	19.13
	65	14.83	15.16	15.18	14.97	15.00	19.67	19.97	20.04	19.97	19.93
	75	15.28	15.57	15.63	15.42	15.43	20.27	20.55	20.64	20.56	20.52
	90	17.13	17.27	17.47	17.27	17.41	21.01	21.40	21.48	21.42	21.51
脳血管疾患	0歳	11.90	11.57	11.16	10.80	10.42	15.13	14.52	13.77	13.29	12.75
	65	12.57	12.18	11.66	11.25	10.83	15.67	15.01	14.22	13.71	13.13
	75	13.22	12.78	12.19	11.71	11.24	16.10	15.41	14.58	14.06	13.45
	90	13.54	12.97	12.42	11.84	11.03	16.10	15.37	14.35	14.07	13.46
肺炎	0歳	12.08	12.46	12.47	12.53	12.50	11.46	12.01	12.07	11.84	11.74
	65	13.73	14.14	14.11	14.13	14.06	12.18	12.75	12.80	12.55	12.43
	75	15.74	16.16	15.99	15.98	15.85	12.94	13.55	13.57	13.28	13.13
	90	21.37	22.07	21.39	21.70	21.00	15.45	16.21	16.20	15.64	15.33
3大死因 (悪性新生物、心疾患、 脳血管疾患)	0歳	56.88	56.33	56.00	55.57	55.14	54.96	54.23	53.57	53.02	52.36
	65	57.20	56.63	56.21	55.72	55.22	54.32	53.61	52.94	52.37	51.67
	75	54.42	53.95	53.63	53.13	52.61	53.06	52.33	51.66	51.11	50.35
	90	45.67	44.92	44.89	44.09	43.35	47.25	46.60	45.76	45.36	44.70



(2) 特定死因を除去した場合の平均余命の伸び

ある死因が克服された場合、その死因によって死亡していた者は、その死亡年齢以後に他の死因で死亡することになる。その結果、死亡時期が繰り越され、平均余命が延びることになる。この伸びは、その死因のために失われた平均余命としてみることができ、これによって各死因がどの程度平均余命に影響しているかを測ることができる。

平成20年についてみると、0歳における伸びは男女とも悪性新生物、心疾患、脳血管疾患、肺炎の順、65歳における伸びは男では悪性新生物、心疾患、肺炎、脳血管疾患、女では悪性新生物、心疾患、脳血管疾患、肺炎の順、75歳における伸びは男では悪性新生物、心疾患、肺炎、脳血管疾患、女では心疾患、悪性新生物、脳血管疾患、肺炎の順になっている。一方、90歳における伸びは男では肺炎、心疾患、悪性新生物、脳血管疾患、女では心疾患、肺炎、脳血管疾患、悪性新生物の順になっている。

3大死因（悪性新生物、心疾患、脳血管疾患）を除去した場合の伸びは、0歳では男8.10年、女7.00年、65歳では男6.51年、女5.75年、75歳では男4.99年、女4.86年、90歳では男2.24年、女2.72年となっている。（表8）

表8 特定死因を除去した場合の平均余命の伸び(0歳・65歳・75歳・90歳)

(単位:年)

主要死因	年齢	男					女				
		平成16年	17年	18年	19年	20年	平成16年	17年	18年	19年	20年
悪性新生物	0歳	4.15	4.00	4.02	4.04	3.99	3.11	3.02	3.01	3.01	3.01
	65	3.18	3.07	3.09	3.12	3.09	2.08	2.03	2.03	2.03	2.03
	75	2.09	2.03	2.07	2.10	2.09	1.45	1.41	1.41	1.42	1.42
	90	0.62	0.58	0.58	0.60	0.59	0.49	0.47	0.45	0.45	0.45
心疾患 (高血圧性を除く)	0歳	1.57	1.60	1.57	1.55	1.54	1.72	1.73	1.66	1.65	1.64
	65	1.21	1.22	1.21	1.20	1.19	1.62	1.63	1.56	1.57	1.56
	75	1.02	1.03	1.03	1.02	1.01	1.53	1.53	1.47	1.47	1.47
	90	0.72	0.70	0.68	0.69	0.69	1.12	1.12	1.01	1.03	1.04
脳血管疾患	0歳	1.16	1.13	1.09	1.06	1.02	1.36	1.29	1.19	1.15	1.10
	65	0.99	0.95	0.90	0.88	0.84	1.26	1.19	1.09	1.05	1.00
	75	0.88	0.83	0.79	0.77	0.73	1.17	1.11	1.01	0.97	0.93
	90	0.55	0.51	0.46	0.45	0.41	0.81	0.76	0.64	0.64	0.61
肺炎	0歳	0.92	0.94	0.92	0.94	0.93	0.84	0.88	0.84	0.83	0.83
	65	0.97	0.99	0.97	0.98	0.97	0.85	0.89	0.85	0.84	0.83
	75	1.01	1.02	1.00	1.01	0.99	0.86	0.90	0.85	0.84	0.83
	90	0.95	0.95	0.86	0.91	0.86	0.78	0.81	0.72	0.71	0.70
3大死因 (悪性新生物、心疾患、 脳血管疾患)	0歳	8.74	8.49	8.31	8.25	8.10	7.94	7.68	7.20	7.12	7.00
	65	7.08	6.85	6.67	6.64	6.51	6.62	6.39	5.91	5.86	5.75
	75	5.42	5.24	5.11	5.10	4.99	5.68	5.46	5.00	4.97	4.86
	90	2.67	2.51	2.31	2.32	2.24	3.48	3.31	2.74	2.77	2.72